

平成26年度
事業報告書

公益財団法人エイズ予防財団

事業部門

I 寄付金等による事業

1 普及啓発事業（公1・普及啓発事業）

(1) ACジャパン支援広告

ACジャパンの支援を受け、HIV検査受検促進を主たる目的とした多角的広報活動を展開した。4月から6月まではダンス・ボーカルユニットEXILEのAKIRAによる「スタートライン」、7月からは俳優の松田龍平を起用した広告「受ける、理由。」により、HIV感染の早期発見及び早期治療についてのメッセージを発信した。

広告媒体：テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、交通広告、屋外看板、自治体等

(2) コミュニティアクション2014

「世界エイズデー」キャンペーンテーマ「AIDS IS NOT OVER～まだ終わっていない」の下、厚生労働省や地方自治体のキャンペーンと協調しつつ、同時並行的に進めるコミュニティ主導のキャンペーンに参加した。

実施期間：平成26年10月16日（木）～12月15日（月）

実施内容：共通課題による全国的なエイズイベント開催の促進及び全国のエイズイベントの情報集約と広報支援

(3) 「HIV検査普及週間」及び「世界エイズデー」

ア 「HIV検査普及週間」キャンペーン

厚生労働省主催イベント「レッドリボンモール〈あなたはだんだんHIV（エイズ）検査に行きたくなる〉」に合わせ、街頭キャンペーンを実施した。

日 時：平成26年5月25日（日）13時30分～16時00分

場 所：イオンモール幕張新都心 GRANDMALL グランドスクエア（千葉県千葉市）

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット 2,000セット

イ 「世界エイズデー」キャンペーン

厚生労働省主催の世界エイズデーイベント「RED RIBBON LIVE 2014 東京」に合わせ、街頭キャンペーンを実施した。また、福岡でのイベント実施に当たり街頭配布用パンフレットを作製し、福岡県に提供した。

日 時：平成26年11月29日（土）13時00分～15時00分

場 所：渋谷駅ハチ公前周辺（東京都渋谷区）

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット3,000セット

ウ STOP AIDS ACTION 2014（ベネトン×オカモト）

世界エイズデーに合わせ、アパレルブランド ベネトン及びコンドームメーカー

オカモト(株)との共催により街頭キャンペーンを実施した。

日 時：平成26年12月2日（火）16時30分～18時30分

場 所：表参道・日本看護協会ビル前（東京都渋谷区）

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット3,000セット

（4）Act Against AIDS 共同事業

AAA運営事務局と共同し、「正しい知識を身につけること」がHIV感染の予防になり、感染者・患者への偏見、差別も生まれないという呼びかけを基本として、エイズ知識啓発パンフレット、ポスターを配布した。

（5）大阪エイズウィーク2014の実施

関西地域でのHIV感染症／エイズへの関心を喚起するため、大阪で開催された日本エイズ学会に合わせ、会期を含む1週間を大阪エイズウィーク2014とし、講演会・シンポジウムや啓発イベントなど、週間中毎日何らかの行事が行われるよう、地元自治体をはじめ、医師会・歯科医師会、厚生労働科学研究班、地域のNGOなどに協力を求めた。

エイズ予防財団独自の企画として、HIV/AIDSをテーマとした映画の上映会及び終了後にトークショーを実施した。

上映作品：『トークバック - 沈黙を破る女たち - 』

パネリスト：坂上 香（監督）、岡本 学（大阪医療センター医療社会事業専門員）

開催日時：12月2日（火）18時40分～22時30分

会 場：大阪医療センター緊急医療災害棟 講堂

共 催：独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

（6）その他啓発普及事業

地域で行われているイベント等にブースを設置し、パンフレット、レッドバンド等の配布を行うとともに、募金活動を実施した。

ア 性のマナー教室～STOP AIDS 2014 in 三崎祭～での講義

日本大学経済学部大学祭において、オカモト(株)の実施する性のマナー教室に協力し、世界エイズデーとHIV/エイズの基礎知識について講義を行った。

実施日：平成26年11月2日（日）、3日（月・祝）

場 所：日本大学経済学部本館3階（東京都千代田区）

イ 地域イベント

「第15回アール・エスポワール展」（世田谷美術館、11月）／「ハートアートコミュニケーション・第18回エイズチャリティ美術展」（国立新美術館、1～2月）

ウ ブース出展による広報

①「RED RIBBON LIVE 2014」ブース設置

日 時：平成26年11月29日（土）17時30分～21時00分

場 所：東京グローブ座（東京都新宿区）

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット700セット

備考：世界エイズデーポスターコンクールの入賞作品を展示

②「第28回日本エイズ学会学術集会・総会」ブース設置

日時：平成26年12月3日（水）～5日（金）

場所：大阪国際会議場（大阪市北区）

配布物：世界エイズデーポスター、予防啓発グッズ、パンフレット他

備考：DVD「HIV職業曝露の予防と対策」の紹介を行った。

2 助成事業（公2・助成事業）

（1）エイズ予防財団助成事業

エイズに関する啓発普及活動を行うボランティア団体やNGOに対し、その活動を支援するため助成金を交付した。平成26年1月に公募を行い、この事業の公正中立な実施のために設置された助成事業選考委員会による審査、選考結果を踏まえて助成を行った。対象事業、助成団体及び交付金額は、以下のとおり。

ア エイズ患者・HIV感染者等に対する社会的支援事業

1	NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス	1,000,000円
---	-----------------------------	------------

イ エイズ患者・HIV感染者等に対する電話相談事業

2	NPO法人レッドリボンさっぽろ	400,000円
---	-----------------	----------

ウ エイズ予防に関する啓発普及事業

3	AIDS文化フォーラムin横浜組織委員会	1,000,000円
4	HaaTえひめ	250,000円
5	TGWAP (Trans Gender Woman Aids Program)	94,394円
6	レッテルアーツ実行委員会	250,000円

（2）ポジティブ・アクション助成事業

ヴィーブヘルスケア株式会社からの寄付金を基に、社会的にインパクトのある取り組み、活動を行うNGO等を支援するポジティブ・アクション助成事業を実施した。

助成の対象となる事業は、①同性愛者等を対象にしたエイズに関する正しい知識の普及等を推進する事業、②中学生・高校生を中心とするティーンエイジャーを対象にした同種事業の二つである。なお、同性愛者等を対象にした事業に対しては申請がなかった。

ア ティーンエイジャーを対象にした事業

1	IFMSA-Japan SCORA (国際医学生連盟日本 性と生殖・AIDSに関する委員会)	500,000円
2	NPO法人akta	1,000,000円

3 情報収集提供事業（公4・調査研究事業）

第20回国際エイズ会議（オーストラリア連邦・メルボルン市）、第28回日本エイズ学会学術集会・総会等に職員を派遣するなど、国内外のHIV感染症・エイズに関する情報の収集に努めた。

4 国際協力事業（公6・国際協力事業）

（1）第20回国際エイズ会議

オーストラリア連邦・メルボルン市で開催された第20回国際エイズ会議の会議場内における「Global Village」において無料ブースを出展し、わが国のHIV感染症／エイズの現状に加え、ACジャパン広告及び同性愛者等向けコミュニティセンターの事業等に関する展示を行い、他国参加者への情報発信と共に意見交換を行った。

日 程：平成26年7月18日（金）～27日（日）

（2）国際研修の受け入れ

JICA九州からの依頼を受け、「HIV/エイズ予防および対策～MDG6達成にむけて～」コース、7カ国8名の研修生（医療従事者・行政関係者等）に対し講義を行い、日本の流行状況、関係予算、「世界エイズデー」「HIV検査普及週間」の取り組み、予防啓発活動、啓発資材、NGOとの連携、エイズ予防財団事業等について講義を行った。

日 時：平成27年3月6日（金）9時30分～11時

（3）MACエイズ基金の受け入れ

UNAIDS/WHO及びベトナム政府が実施するTreatment 2.0パイロット事業について、米国の化粧品会社MACが運営するMAC AIDS Foundationが資金提供することとなった。UNAIDSからの依頼を受け、日本でのMAC社の売上からプロジェクトに充てられる資金の受渡を橋渡しした。

（4）外国人講師の招へい

第28回日本エイズ学会学術集会・総会 市民公開講座に協賛し、UNAIDSランセット委員会委員を務めるCristina Pena（クリスティーナ・ペニャ）氏（米国Elizabeth Glaser Pediatrics AIDS Foundationアンバサダー）を招へいした。

講演タイトル：「エイズに打ち勝つには～私のストーリーから～」

（5）ASAP（アジア太平洋エイズ学会）の団体会員

ASAPへの団体会員としての関わりを継続した。

（6）GII/IDIに関する外務省/NGO懇談会の団体会員

GII/IDIに関する外務省/NGO懇談会への団体会員としての関わりを継続した。

5 抗ウイルス療法支援事業

（1）抗HIV治療ガイドラインの作成

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV感染症及びその合併症の課題を

克服する研究班の協力を得て、同班の作成した『抗HIV治療ガイドライン』を増刷し、配布した（A4版2,000部、縮刷版1,600部）。

(2) DVD「HIV職業曝露の予防と対策」の作成

HIVの職業曝露予防対策の周知と、2013年9月に米国公衆衛生局から出された予防内服ガイドラインの紹介を目的に、国立病院機構大阪医療センター等の協力を得て、啓発用DVDを作成、頒布した（時間20分、2000枚）。

(3) 研究支援事業（公4・調査研究事業）

HIV、HCV 化学療法の進歩発展に貢献するため、抗ウイルス療法研究等の支援を行うことを検討した。

6 ファンドレイジング活動

上記公益事業を実施するため、関連企業等に対し寄付金の募集を行った。

II エイズ予防対策事業（厚生労働省委託事業）

1 血液凝固異常症実態調査事業（公4・調査研究事業）

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関で調査を実施した。1,278施設、1,457担当医等に調査票を送付し、683施設、778担当医等から4,153の症例について回答を得た。

調査結果報告書は、回答のなかった医療機関を含め、すべての担当医及び患者等に提供し、フィードバックすることにより患者の治療とQOLの向上を図った。

なお、調査の精度及び専門性を確保するため、医療関係者及び患者で構成する全国調査運営委員会を設置して実施した。

2 HIV感染者等保健福祉相談事業（公5・相談事業）

(1) エイズ中核拠点病院における相談事業

エイズ中核拠点病院（35機関）に相談員を配置し、HIV感染者・エイズ患者等への心理的援助を行った。今年度から新たに本事業を開始した医療機関は千葉大学医学部附属病院、浜松医療センター、鳥取大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院の4件であった。

(2) 相談支援事業

相談の精度確保及び均てん化を図るため、全国の相談員を一堂に招集し、国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター（以下「ACC」）及び地方ブロック拠点病院の医師、カウンセラー等による指導、講義・事例検討等を行うとともに、情報・

意見交換を行った。

実施日：平成26年11月15日（土）～16日（日）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

参加者：35人

（3）HIV検査事業

ア 厚生労働省主催イベントに合わせた臨時HIV検査を実施した。

○HIV検査普及週間

実施日：平成26年6月15日（日）

場 所：シブヤ・ネクサス（東京都渋谷区）

受検者：51人

○世界エイズデー

実施日：平成26年11月29日（土）

場 所：シブヤ・ネクサス（東京都渋谷区）

受検者：62人

備 考：「RED RIBBON LIVE 2014」に合わせて実施

イ 「HIV検査・相談窓口」における情報サービスの実施

全国の保健所等における検査日時や場所、予約の方法、電話相談等についての情報を収集し、エイズ予防情報ネット（以下「API-Net」）を通じて提供した。

（4）専門相談員による電話相談

当財団内に電話相談室を設置し、専門相談員による電話相談を実施した（フリーダイヤルで、月曜から金曜までの毎日、午前10時～午後1時、午後2時～5時）。

平成26年度電話相談受付件数：7,056件

3 HIV診療医師情報網支援事業（公1・普及啓発事業）

HIV感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため各ブロックに設置された情報網に対し、財政的支援を行った。各情報網では、症例検討会や講演会の開催、ネットワーク紙の発行等のほか、今後の取り組みを共有するための会議を開催した。

支援先情報網（6カ所）

東北HIV診療支援ネット／東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会／北陸HIV臨床談話会／関西HIV臨床カンファレンス／岡山HIV診療ネットワーク／九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議

4 エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業（公2・助成事業）

エイズ治療拠点病院における診療能力の向上及びHIV感染症／エイズ診療のリーダー的役割を担う人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関に医療従事者を派遣し、臨床実地研修を実施した。

サンフランシスコ（医師等コース）

研修先：カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：11月1日（土）～16日（日）

受講者：5人（医師1名、歯科医師3名、薬剤師1名）

5 エイズ国際会議研究者等派遣事業（公2・助成事業）

わが国のエイズ対策の広範な充実、活性化を図ることを目的として、第20回国際エイズ会議に参加する研究者、NGOスタッフ、医療従事者等の会議登録料、旅費等を助成した。

会議開催期日：2014年7月20日（日）～25日（金）

開催場所：メルボルン市（オーストラリア連邦）

メルボルン・コンベンション&エキシビション・センター

会議テーマ：Stepping Up the Pace 「速度を上げよう」

派遣者：5人

6 エイズ国際協力計画推進検討事業（公4・調査研究事業）

東南アジア地域等におけるわが国のHIV感染症・エイズ対策分野での国際協力計画作成のための提言を行うことを目的に、近年、HIV感染率の上昇がみられるインドネシア共和国を訪問し、HIV感染症・エイズまん延状況、エイズ予防啓発活動等の現地視察及び現地担当者との意見交換等を行った。調査は、国立国際医療研究センター国際医療協力局の協力の下実施した。

訪問地：インドネシア共和国 ジャカルタ市

日 程：平成27年2月12日（木）～17日（火）

7 エイズ予防情報センター事業（公4・調査研究事業）

インターネットによる情報公開サイト「エイズ予防情報ネット（API-Net）」を運営し、HIV感染者・エイズ患者やその家族、一般国民、医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等を提供した。年間のアクセス件数は167,660件であった。

8 青少年エイズ対策事業

（1）学校と地方保健行政の連携における青少年エイズ予防対策事業の実施

（公3・人材育成事業）

青少年を対象とする、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業の実施を目的に、全国の地方自治体・保健所等のエイズ対策担当者を対象とした「地域エイズ予防コアリーダー」育成のための研修会を実施した。

実施日：平成26年7月16日（水）～17日（木）

場 所：京都ガーデンパレス

受講者：67人（21府県、61保健所）

（2）啓発資材の作成・配布（公1・普及啓発事業）

コアリーダーが地域において予防啓発活動を実施するための支援として、学校等における青少年啓発のためパンフレット等を作成・配布した。

中学生向けパンフレット14,954部

若者用向けパンフレット12,041部

中・高生向けセクシャルヘルス啓発サイト広報カード（学校用）8,000部

中・高生向けセクシャルヘルス啓発サイト広報カード（保健所用）1,000部

（3）「世界エイズデー」ポスターコンクール（公1・普及啓発事業）

全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象に、HIV感染症・エイズ予防及び差別・偏見の解消を呼びかけるポスターコンクールを実施した。

受賞作品はAPI-Netで公表するとともに、厚生労働省主催の世界エイズデーイベント会場においてパネル展示した。また、世界エイズデー啓発ポスター用として選定した作品は、厚生労働省により印刷され、全国に配布された。

募集期間：平成26年4月17日（木）～9月5日（金）

応募総数：739点

結 果：小・中・高・一般の各部門につき最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を選考した。また、各部門の最優秀賞作品の中から1点を「世界エイズデー」啓発用ポスターとして選定した。

9 エイズ治療啓発普及事業（公1・普及啓発事業）

（1）情報提供誌の発行

エイズに関する治療、研究等の情報を全国のエイズ治療拠点病院の医療従事者等に提供し、診療支援を行うことを目的とした情報提供誌を作成、配布した。内容は、第28回日本エイズ学会学術集会・総会において行われた、平成26年度エイズ対策実用化研究推進事業研究成果等普及啓発事業の公開講座「HIV 感染症のCureは可能か？-基礎研究者の挑戦」から四つを取り出してまとめたものである。

発行部数：500部

（2）世界エイズデー・キャンペーンテーマ検討会議の実施

世界エイズデー・キャンペーンテーマの決定プロセスにできるだけ多くの人に関与してもらうよう、API-Netによる意見募集、2回のフォーラム開催の後、選考委員によるテーマ検討会議での議論、ワーディングを経てキャンペーンテーマ案を策定し、厚生労働省に提出した。

・第1回フォーラム（参加者18人）

日 時：平成26年5月13日（火）18時30分～20時00分

場 所：コミュニティセンターakta（東京都新宿区）

・第2回フォーラム（参加者24人）

日 時：平成26年6月25日（水）18時30分～20時00分

場 所：大阪検査相談・啓発・支援センター「chotCASTなんば」オープンスペース（大阪市浪速区）

（3）HIV検査受検促進のための啓発情報提供

特に、6月のHIV検査普及週間及び12月1日の世界エイズデーに際しては、各自治体で実施されるイベントや臨時HIV検査などについて情報収集し、特設ページにより公開した。

10 ボランティア指導者育成事業（公3・人材育成事業）

エイズNGO活動におけるリーダー養成のため、NGO指導者研修会を開催し、HIVの疫学と治療、福祉制度に関する最新知見の取得、HIV感染症と法律相談等、各NGO活動の経験共有や企画能力の向上を図る講座を提供した。

実施日：平成26年10月12日（日）～13日（月・祝）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

受講者：10人

11 相談員養成研修事業（公3・人材育成事業）

（1）HIV／エイズ基礎研修会

HIV感染症／エイズに関する基本的な知識及びHIV陽性者や支援活動への理解の向上を図るため、次のとおり研修会を実施した。

目 的：エイズの流行状況、HIV感染症の病態と治療、HIV検査相談を学ぶとともに、HIV陽性者やセクシュアリティの実際を知る。

対 象：エイズに関する業務・活動に携わる（又は携わろうとしている）行政担当者、医療関係者、教育関係者、介護関係者、企業、NGO、学生等

実施日：平成26年6月20日（金）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

受講者：79人

（2）HIV検査相談研修会

HIV感染症／エイズに関する相談体制の質の向上・充実を図るため、次のとおり研修会を実施した。

目 的：HIV感染症の病態・治療、HIV検査、社会福祉制度、セクシュアリティ、カウンセリングに関する知識や対応ポイント等について学ぶとともに、検査相談時対応の演習を行う。

対 象：HIV検査相談業務に携わる保健所、保健センター、クリニックを含む医療機関及びその他機関の担当者

実施日：東京 平成26年8月21日（木）～22日（金）

大阪 平成26年10月16日（木）～17日（金）

場 所：東京 家の光会館、飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

大阪 天満研修センター（大阪市北区）

受講者：東京 80人、大阪 79人

12 中核拠点病院連絡調整員養成事業（公3・人材育成事業）

エイズ中核拠点病院の看護師等を養成し、HIV診療に必要なチーム医療の調整及び地方ブロック拠点病院やエイズ治療拠点病院との調整に必要な能力を習得させることにより、地方ブロック拠点病院に患者等が集中する事態の解消並びに適切な医療の提供を図った。

（1）研修事業

エイズ中核拠点病院においてHIV医療に係る診療科間連携調整等のチーム医療に従事する看護師等を対象とし、6週間の研修を実施した。

研修期間中初期の4週間は大阪医療センターの実施するコーディネーターナース研修への参加とし、その後の2週間は地方ブロック拠点における実地研修を行った。

受講者：愛媛大学医学部附属病院 1人

（大阪医療センター／広島大学病院にて研修）

琉球大学医学部附属病院 1人

（大阪医療センター／九州医療センターにて研修）

（2）全国中核拠点病院連絡調整員会議

前記のチーム医療に従事する看護師等の連絡調整員（同様の役割を担う者を含む。）等を対象とする会議を開催した。

ACCの医師によるHIV診療に係る最新情報の講義のほか、HIVコーディネーターナースと院内他診療科専門ナースによる連携事例紹介、地方ブロック拠点病院看護実務者との合同により、各病院・地域の現状報告、情報提供などを行った。

実施日：平成27年3月13日（金）～14日（土）

場 所：国立国際医療研究センター研究所会議室

参加者：29機関35人

13 HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業

治療の進歩により長期存命が可能となったHIV感染者・エイズ患者に対する在宅医療・介護の環境を整備するため、訪問看護を行う看護師等への実地研修、在宅医療・介護を行う医療機関等への支援チーム派遣、地域で患者等の診療に携わる医師、歯科医師

等へのHIV医療講習会を実施した。

(1) 実地研修事業（公3・人材育成事業）

訪問看護・訪問介護サービスを提供している事業所の看護師や介護職員をエイズ中核拠点病院等に1週間程度派遣し、HIV感染症／エイズ医療に係る実地研修を実施した。研修を実施した病院は18病院で、受講者数は57人であった。

(2) 支援チーム派遣事業（公5・相談事業）

エイズ治療の専門的知識を有する支援チームをエイズ中核拠点病院に設置し、在宅医療・介護を行う医療機関等の要請に基づいて同支援チームを派遣する事業を実施した。支援チームを設置した病院は21病院であり、そのうち支援チームを派遣したのは名古屋医療センター（2回）及び滋賀医科大学附属病院（2回）であった。

(3) HIV医療講習会の開催（公3・人材育成事業）

地域で患者等の診療に携わる医師、歯科医師、看護師等を対象として、HIV感染症／エイズに関する知識や感染予防等に関する講習会を都道府県医師会、同歯科医師会の協力を得て実施した。

講習会を実施した医師会は12府県、歯科医師会は15道府県であった。

Ⅲ 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業

（厚生労働省委託事業、公1・普及啓発事業）

わが国における近年のHIV感染者・エイズ患者の発生動向を踏まえ、「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」に基づき、個別施策層である同性愛者等に対してNGO等による当事者性のある活動を支援することにより、エイズに関する正しい知識の普及等を推進するため、以下の事業を実施した。

1 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業推進協議会の設置

同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業を効果的・効率的に推進するためには、1つのコミュニティセンターが単独で事業を行うのではなく、他のセンター及び厚生労働省エイズ対策研究事業「男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究班」（研究代表者・市川誠一）との協調・協働が重要である。そのため、研究者等による推進協議会を設置し、事業活動方針の協議や事業の評価のための協議会を開催した。

2 コミュニティセンターの設置・運営等

同性愛者等向けコミュニティセンター（以下「センター」）を、仙台市青葉区国分町、東京都新宿区新宿2丁目、名古屋市中区栄、大阪市北区堂山町、福岡市博多区住吉、沖縄県那覇市壺屋の6地域に設置し、以下の事業を行った。

(1) 地域ボランティア団体（CBO）による運営

センターの運営は、上記研究班においてコミュニティベースの啓発活動の実績を示してきた、地域の男性同性愛者等で構成するCBOの協力を得、同性愛者等に訴求性のある効果的な啓発活動を推進した。コミュニティセンターとしての機能は次のとおりである。

- ア ゲイ・コミュニティにアクセスする人々や、その他のMSMが自由に立ち寄ることができ、セクシュアルヘルスに必要な情報やコミュニティの情報を持ち帰ることができる拠点の提供（啓発資材の収集・提供、コミュニティ情報の収集・提供、情報収集のためのインターネット利用の提供など）
- イ HIV感染症／エイズ、セクシュアルヘルスの情報発信を目的とした交流会・勉強会・研修会等の実施
- ウ 地域のHIV感染症／エイズの状況をゲイ・コミュニティ等に還元する成果報告の会場提供
- エ 地域のゲイ・コミュニティを活性化するための会場提供
- オ セクシュアリティや性、STI/HIVなどに取り組む他の関連機関との協働、連携の拠点

(2) HIV感染症・エイズ予防啓発のための資材作成と配布

同性愛者等のセクシュアル・マイノリティやHIV感染者に対する偏見・差別については、地域によって異なった背景があるため、対象地域の特性に配慮しつつ、訴求性のある啓発資材等を開発し、普及を図った。また、同性愛者等の社会においても既にHIV陽性者が多く存在することから、その点に配慮した。

(3) 同性愛者等におけるHIV感染症・エイズの予防や支援のための研修会の実施

地域の同性愛者等に対する偏見や差別を解消するため、また、HIVに関する相談やHIV検査等を同性愛者等が安心して受けられる環境を構築するため、保健医療従事者、教育関係者、自治体職員等を対象とする研修会を実施した。

(4) 相談事業

同性愛者等の性的指向を踏まえた、感染予防やHIV検査機関等に関する相談、情報提供を行った。また、相談件数、内容等の集計を行った。

(5) その他の事業

本事業は、同性愛者等を対象としている商業施設が集積する地域において啓発活動を行う拠点を設置するものであり、各種施設や企画イベントと連携することで、より一層の効果が期待されるため、6地域で活用できるコミュニティセンター紹介フライヤーやポスターを作成、配布した。また、商業施設を中心としたコミュニティに出入りすることのない同性愛者等に対しても、啓発イベント、インターネット、各種メディア等を通じて啓発普及を図った。

IV エイズ対策研究推進事業（厚生労働科学研究費補助金）

1 エイズ対策研究推進事業運営委員会の設置

エイズ対策研究推進事業に対する応募申請の審査、採択を行うため、エイズ対策研究推進事業運営委員会を設置した。委員会は4回開催した。

委員：石川信克（結核研究所）／武田康久・山内和志（国立国際医療研究センター）
／森光敬子・中山 鋼（国立感染症研究所）／永井美之（理化学研究所）／
中村安秀（大阪大学大学院）／倉田毅（国際医療福祉大学塩谷病院）

2 エイズ対策実用化研究推進事業

（1）外国人研究者招へい事業（公2・助成事業）

招へい人数 1名 （国別）米国 1名

（2）外国の研究機関等への委託事業（公2・助成事業）

委託件数 1件 （国別）ガーナ共和国 1件

（3）若手研究者育成活用事業（公2・助成事業）

採用人数 7名 理化学研究所等研究機関（6機関）

（4）研究成果等普及啓発事業（公1・普及啓発事業）

件 名：研究成果発表会「HIV感染症のCureは可能か？－基礎研究者の挑戦」

日 時：平成26年12月5日（金）13時40分～15時40分

会 場：大阪国際会議場10階（大阪市北区）

参加者数：129名

3 エイズ対策政策研究推進事業

（1）外国人研究者招へい事業（公2・助成事業）

招へい人数 1名 （国別）英国 1名

（2）若手研究者育成活用事業（公2・助成事業）

採用人数 37名 地方ブロック拠点病院等（10機関）

（3）研究成果等普及啓発事業（公1・普及啓発事業）

件 名：「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究班」研究成果発表会

日 時：平成26年11月30日（日）13時30分～16時30分

会 場：アプローズタワー13階（大阪市北区）

参加者数：24名

V その他事業

(1) 名義の付与

出版社等の発行する小冊子、リーフレット等の監修を行い、監修名義を付与した。

自治体・企業・団体等が主催するHIV感染症／エイズに関する講演会、チャリティイベント等に後援名義を付与した。

管 理 部 門

1 理事会

(1) 第14回理事会

日 時：平成26年6月9日（月）午後4時00分～5時40分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 案：平成25年度事業報告の承認の件／平成25年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算)及び附属明細書並びに財産目録の承認の件／定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報 告：第13回理事会（平成26年3月24日）以降の職務執行の状況

(2) 第15回理事会

日 時：平成27年3月23日（月）16時00分～17時50分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 案：平成27年度エイズ予防財団助成事業及びポジティブ・アクション助成事業助成対象者の決定の件／平成27年度事業計画・収支予算の承認の件／公益財団法人エイズ予防財団寄附金等取扱規程の改正の件／公益財団法人エイズ予防財団資金運用規程の制定の件

報 告：平成26年度収支決算見込み／第14回理事会（平成26年6月9日）以降の職務執行の状況

2 評議員会

(1) 第4回評議員会

日 時：平成26年6月23日（月）16時00分～17時00分

場 所：公益財団法人結核予防会会議室（千代田区三崎町）

議 案：議長の互選の件／議事録署名人の選出の件／平成25年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件／平成25年度事業報告の件／

報 告：理事会の開催状況等について

<附属明細書の作成について>

平成26年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

平成27年6月

公益財団法人エイズ予防財団